



わたしたちが 地域とともにできること

日時 10月30日(金) 14:00~17:00

会場 横浜市立大学カメラホール(金沢八景キャンパス)
(定員:300名)

入場
無料
申込不要

温暖化をはじめとする環境問題、超高齢社会対応と健康都市づくり、郊外のまちづくりや都市デザイン、地元企業の活性化・・・横浜市立大学は学生とともに私たちを取り巻く地域課題に、さまざまな形で取り組んでいます。この報告会では、取組の報告とともに「大学と地域」のこれからの形を考えます。

【第1部】 教員地域貢献活動支援事業報告

横浜の海から環境を考える

「ブルーカーボン横浜プラットフォーム～
山下公園前海域等における海域環境改善の調査研究」

国際総合科学群(国際総合科学部理学系生命環境コース)教授 大関 泰裕
客員研究員 石井 彰
八千代エンジニアリング株式会社総合事業本部環境計画部 石井 重久氏



【第2部】 ゲストトークセッション

今、大学に求められているもの



NPO法人KANATAN 副理事長
(逗子市議会議員)

長島 有里氏

NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事/ヨコハマ経済新聞編集長
国際総合科学群(国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース) 教授 鈴木 伸治

TBS 解説委員 龍崎 孝氏



杉浦 裕樹氏

国際総合科学群(国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース) 教授 鈴木 伸治

【第3部】 パネルディスカッション

わたしたちが地域で目指すもの

国際総合科学群(国際総合科学部国際都市学系地域政策コース) 教授 影山 摩子弥
医学群(医学部再生医学) 准教授 武部 貴則

国際総合科学群(国際総合科学部理学系物質科学コース) 准教授 金 亜伊
学生が取り組む地域貢献活動支援事業 YDC、中西ゼミ学生

アクティブ・ラーニング 芦澤ゼミ学生

NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事/ヨコハマ経済新聞編集長 杉浦 裕樹氏

主催: 公立大学法人横浜市立大学



横浜市立大学



文部科学省

地(知)の拠点



環境未来都市 横浜

FUTURECITY YOKOHAMA



わたしたちが地域とともにできること

<プログラム>

- 14:00 開会
 理事長ごあいさつ
 公立大学法人横浜市立大学理事長 二見 良之
 横浜市立大学の取り組むCOC事業
 事業推進者 国際総合科学群教授 鈴木伸治
- 14:10 【第1部】教員地域貢献活動支援事業報告
「横浜の海から環境を考える」
 理学系生命環境コース 教授 大関 泰裕
 客員研究員 石井 彰
 八千代エンジニアリング株式会社
 総合事業本部環境計画部 石井 重久 氏
- 14:55 【第2部】ゲストトークセッション
「今、大学に求められているもの」
 TBS 報道局解説委員 龍崎 孝 氏
 NPO法人KANATAN 副理事長(逗子市市議会議員)
 長島 有里 氏
 NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ/ヨコハマ経済新聞編集長
 杉浦 裕樹 氏
 国際都市学系まちづくりコース 教授 鈴木 伸治
- 15:40 休憩
- 15:50 【第3部】パネルディスカッション
「わたしたちが地域で目指すもの」
 国際都市学系地域政策コース 教授 影山 摩子弥
 医学部再生医学 准教授 武部 貴則
 理学系物質科学コース 准教授 金 亜伊
 学生が取り組む地域貢献活動支援事業団体
 アクティブ・ラーニングに取り組む学生
 NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事
 /ヨコハマ経済新聞編集長
 杉浦 裕樹 氏
- 17:00 閉会

<ゲスト プロフィール>



龍崎 孝(りゅうざき たかし)氏

横浜国立大学教育学部卒業後、毎日新聞入社。1995年東京放送(TBS)移籍。初代JNN三陸臨時支局長、報道局政治部長を経て、現在、情報制作局担当局次長兼報道局解説委員を務める。
 TBS「あさチャン！」コメンテーターとして月曜日から木曜日に出演中。
 横浜市立大学大学院都市社会文化研究科博士後期課程2年に在学中でもある。



長島 有里(ながしま ゆり)氏

長女出産後、子育てをしながら大学へ入学。立教大学法学部卒業後、逗子市議会議員選挙に当選(現在3期目)。2013年横浜市立大学大学院都市社会文化研究科博士前期課程修了(学術修士)。2014年、NPO法人KANATANを立ち上げ、児童養護施設の子どもたちへの就学・就労支援を行っている。



杉浦 裕樹(すぎうら ひろき)氏

2003年に横浜コミュニティデザイン・ラボを設立。2004年にヨコハマ経済新聞を創刊。シェアオフィス「さくらWORKS<関内>」、地域課題解決プラットフォーム「LOCAL GOOD YOKOHAMA」、デジタルものづくり工房「ファブラボ関内」、「オープンデータ」利活用などのプロジェクトを推進している。

【第1部】「横浜の海から環境を考える」

ブルーカーボンとは、大気中のCO₂を海の生物に吸収させ、温室効果ガスを削減させる活動。八千代エンジニアリング株式会社と協働で研究する「ブルーカーボン横浜プラットフォームー山下公園前海域における海域環境改善の調査研究」ー生物の浄化能力を活かし、スマートな海づくりに総合的に取り組む「海中デザイン」について、報告します。

【第2部】「今、大学に求められているもの」

大学の持つチカラは、もっと地域で活かしてもらえるのでは？横浜市立大学はそう考えています。

横浜市立大学大学院で学ばれた龍崎さんと長島さんに、大学だからこそ地域に対してできること、社会から求められている大学の姿など、ご経験を踏まえながらお話いただけます。また、横浜の地域・まちづくりを発信しつづけ、まちの活性化を仕掛けてきた杉浦さんにも加わっていただき、「大学と地域」を考えます。

【第3部】「わたしたちが地域で目指すもの」

教員・学生がそれぞれの活動を報告し、わたしたちの未来・これからについて語ります。

<報告事例>

■教員地域貢献活動支援事業

「横浜の地域課題からオープンイノベーションを生み出す企業ネットワークの構築とCSR活動を伝える新たなコミュニケーション手法の研究」影山摩子弥

「地域の健康・医療問題解決に向けたメディカルデザインハブの構築」武部貴則

「MEMS加速度センサーを用いた市民参加型地震波計測ネットワークの構築：横浜市における防災・教育活動に向けて」金亜伊

■学生が取り組む地域貢献活動支援事業

「医学生・看護学生が創る『医療』教育」YDC

「まちづくりデザインゲーム並木版の制作・活用を通じた地域活性化」中西ゼミ

■アクティブ・ラーニング推進プログラム

「起業体験プログラム@PIAフェスタ」芦澤ゼミ

<お問い合わせ>

公立大学法人横浜市立大学 研究推進課地域貢献担当
 TEL & FAX 045-787-2205 E-mail coc@yokohama-cu.ac.jp

<金沢八景キャンパスへのアクセス>

京浜急行 金沢八景駅下車 徒歩5分
 シーサイドライン 金沢八景駅下車 徒歩7分

